The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | タイ語における視覚動詞「duu 見る」と聴覚動詞「faŋ 聞く」の意味的拡張 |
| Author(s) | 宮本, マラシー |
| Citation | 言語文化研究. 2017, 43, p. 173-189 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/61285 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

# タイ語における視覚動詞「duu 見る」と聴覚動詞「faŋ 聞く」の意味的拡張

宮　本　マラシー

# Semantic Extensions of Visual Perception Verb “duu（see, look, watch）” and Auditory Perception Verb “faŋ（listen）” in the Thai Language

MIYAMOTO Marasri

This article examines idiomatic meanings of the visual perception verb “duu（see, look, watch）” and the auditory perception verb “faŋ（listen）” in the Thai language. The results of the examination show that the two verbs have both commonalities and differences in the patterns of their semantic extensions through metaphor, metonymy, etc., as follows:

Commonalities: Both “duu（see, look, watch）” and “faŋ（listen）” have developed to describe people’s thinking and attentiveness. The differences: The meaning of “duu（see, look, watch）” has expanded to describe people’s intelligence, feelings and evaluations, but “faŋ（listen）” has developed to describe people’s obedience.

キーワード：視覚動詞，聴覚動詞，意味的拡張

**Key Words**: visual perception verb, auditory perception verb, semantic extension

## 1．はじめに

### 1.1　研究背景

国広［1989］は「感覚そのものの発達の度合，鋭さから言うと，視覚と聴覚は他の感覚よりも圧倒的に高度に発達している」と記述している［国広 1989: 30］。この記述の通り，言語表現においても，視覚と聴覚を表す言葉は多くある。日本語とタイ語にも視覚と聴覚に言及する慣用表現が少なからず存在している。たとえば，日本語の「百聞は一見に如かず」や「壁に耳あり障子に目あり」，タイ語の「sìp pàak wâa mâi thâo taa hěn 十口言うとも一眼の見に如かず」や「nâa-tàaŋ mii hǔu, pratuu mii taa 窓に耳あり，戸に目あり」など。これらの慣用句のように，視覚の言葉と聴覚の言葉が共起することもしばしば見られる。それにも係わらず，視覚動詞と聴覚動詞の研究は現在に至るまで数多く行われてきたとは言えない。特に，タイ語の場合，視覚動詞の研究は見られても聴覚動詞の研究は管見の限り見あたらない。

タイ語の視覚動詞には，「duu 見る」があり，一方，聴覚動詞には「faŋ 聞く」がある。「duu 見る」は「chán duu rûup dɔ̀ɔk-saakurá? 私はサクラの花の写真を見ている」のように，目で事物の存在を感じ取るというのが基本的な意味である。「faŋ 聞く」は「malí? chɔ̂ɔp faŋ sĭaŋ náam lăi マリは水が流れる音を聞くのが好き」のように，音，声，言葉などを耳に感じ取るというのが基本的な意味である。しかし，日常生活では，「duu 見る」と「faŋ 聞く」はそういった基本的な意味においてのみ用いられているわけではない。基本的な意味以外の「duu 見る」と「faŋ 聞く」は，どのような意味合いで用いられているのか，また，それぞれの意味合いには人々の精神的活動を表すようなものが見られるのかどうか等についてはまだ不明な点が多くあるのが現状であり，筆者の関心を持つところでもある。

## 1.2 先行研究

Sweetser E.［1990］は，英語を含めてドイツ語やラテン語等のインド・ヨーロッパの言語の例を示しながら，「see」→「know」，「taste」→「personal likes and dislikes（preferences）」，「touch」→「emotion」，「hear」→「obey」と，視覚は＜知性＞[1]へ，味覚は＜個人的嗜好＞へ，触覚は人間の＜感情＞[2]へ，そして聴覚は＜従順＞へと意味的拡張するといったように知覚動詞は人間の精神的活動と体系的なつながりがあることを論証している。また，「聞く」と「従う」との繋がりはインド・ヨーロッパの言語のみならずおそらく万国の言語に見られるだろうということも指摘している。一方，Evans and Wilkins［2000］は，Sweetser E.［1990］の記述を再検討し，オーストラリアの諸言語の感覚動詞を調査した結果，＜知性＞そして＜思考＞[3]を表すようになった表現は視覚ではなく，聴覚から発展してきているということを証明している。

瀬戸［1995（2011）］は，「見る」は「知る」そして「分かる」と融合するということを検証するために，日本語の「見る」や英語の「see」などの意味的拡張を考察した。その際，「『見る』は眼球によって外部の光をとらえることだけを意味するのではない。むしろ，一次的知覚が二次的な認識に高まることを主要な内容としている。この知覚と認識の間で，「見る」は豊かな意味の広がりを示す」と述べている［1995（2011）: 22］。

タイ語の場合，視覚動詞についての研究は，Rattanaphanusorn R.［2006, 2009］，そしてRattanaphanusorn R. and Thepkanjana K.［2007］の研究に見られる。

Rattanaphanusorn R.［2006］はタイ語の「mɔɔŋ 眺める」，「duu 見る」，そして「hěn 見える」を取り上げ，それぞれの基本的な意味及び拡張された意味を論述し，その 3 つの動詞の共通性お

1）本稿で用いている「知性」とは，日本語の「知る」，「分かる」，「理解する」，英語では「know」という動詞で表されるところの，「人の知る，分かる，理解する能力」を指している。

2）Sweetser E.［1990］が用いた英語の表現は，一般的な感情を表す「feelings」ではなく，強い感情を表す「emotion」である。

3）本稿で用いている「思考」とは，日本語の「考える」，英語では「think」という動詞で表される，「思量し事を明らかにする技術」，そして「判断する技術」も含めている。

よび関連性を考察している。そこで，氏は感覚の中で視覚が最も信頼されると思われるように，視覚動詞には信頼が置かれているという拡張された意味合いを持つということを指摘している。

Rattanaphanusorn R. and Thepkanjana K.［2007］は，引用文に先行するタイ語の視覚動詞「hěn 見える」を(1)のような例を示しながら，論じている。そこには，「hěn 見える」は文法化され，証拠性マーカーとして用いられ，情報源を表し，その情報に対する信頼性を高めると同時に，話し手のその情報に対する責任逃れの言い方として用いられると指摘している。

*(1)　hěn thân naayók bɔ̀ɔk wâa thâa thúkkhon mây rûamkan pràyàt námman, ìiknɔ̂y kɔ̂ khoŋ camkàt kaannamkhâw*[4]*.*

*首相は国民の皆さんが石油の節約に協力しなければ，将来輸入を制限するかもしれないと言ったらしい。*

また，Rattanaphanusorn R.［2009］は引用文に先行する視覚動詞「hěn 見える」を検討し，「hěn 見える」は情報に対する信頼性を高め，Sweetser［1990］の指摘にあった「視覚で受けた情報は最も信頼性がある」ということへの支持を表する［Rattanaphanusorn 2009: 19］。

タイ語の研究は，いずれも視覚動詞の拡張と情報に対する信頼性とのつながりに注目している。

### 1.3　研究目的

本研究は，視覚動詞「duu 見る」と聴覚動詞「faŋ 聞く」の意味的拡張を分析し，次の二点を明らかにすることが目的である。

1)「duu 見る」と「faŋ 聞く」の意味的拡張のパターン。「duu 見る」と「faŋ 聞く」は人の精神的活動を表す場合，視覚は＜知性＞へ，聴覚は＜従順＞へといった Sweetser E.［1990］の指摘の通りになるのか，それとも＜知性＞そして＜思考＞を表すようになったのは聴覚からの発展であるといった Evans and Wilkins［2000］の指摘の通りになるのかを確認する。

2)「duu 見る」と「faŋ 聞く」の拡張により生じた意味領域の同異とその特徴。

研究の対象は，文中で本動詞（lexical verbs）として用いられる「duu 見る」と「faŋ 聞く」，そして「duu 見る」及び「faŋ 聞く」と他の語句との共起からなる熟語や慣用句である。分析の対象として用いられる例文は，日常生活においての実際の会話文やタイ語母語話者コンサルタント[5]による作成された例文もあれば，web 上，ドラマ「Doksom Seetong」のセリフ［2011］，タイ日辞典［冨田 1990］，そして Thai National Corpus Ⅱ（TNC）［Chulalongkorn University 2007–

4）発音符号は原文のままに表記する。

5）タイ語母語話者コンサルタントは共通タイ語をしゃべっている 20 代～50 代の男女 7 名である。内訳：20 代の女性 1 名，30 代の男性 1 名，40 代の女性 2 名，50 代の女性 3 名。

2013］から引用するものもある。

### 1.4　本稿の構成

本稿は 7 節から成る。

第 1 節では，本研究の研究背景，先行研究，研究目的について説明する。

第 2 節では，本動詞として用いられる「duu 見る」の例文を示しながら，それぞれの意味合いを説明する。また，「duu 見る」と他の語句との共起からなる熟語や慣用句を［表 1］で提示する。

第 3 節では，第 2 節で取り上げた本動詞として用いられる「duu 見る」の例文や慣用句の意味を分析し，「duu 見る」の拡張により生じる意味領域を考察する。

第 4 節では，本動詞として用いられる「faŋ 聞く」の例文を示しながら，それぞれの意味合いを説明する。また，「faŋ 聞く」と他の語句との共起からなる熟語や慣用句を［表 2］で提示する。

第 5 節では，第 4 節で取り上げた本動詞として用いられる「faŋ 聞く」の例文や慣用句の意味を分析し，「faŋ 聞く」の拡張により生じる意味領域を考察する。

第 6 節では，本研究の結果として，「duu 見る」と「faŋ 聞く」の拡張された意味の同異とその特徴を対照的に考察する。

第 7 節では，本研究では取り上げるに至らなかった点や残された課題を述べる。

## 2.「duu 見る」

### 2.1　本動詞（lexical verbs）として用いられる「duu 見る」

ここでは，「duu 見る」が文中で本動詞として用いられている例文を提示し，用いられる意味合いを説明する。

(2)　*phaa lǎan pai duu bai-mái plìan sǐi thîi Tokyo.*
*姪を連れて，東京での紅葉を見に行った。*
［www.holidaythai.com/Family Trip/blogs-11664.htm］[6)]

(3)　*“hə́əi kɛɛ pai reo, dǐao duu rûn phîi mɔɔ hòk khɛ̀ɛŋ bɔɔn mâi than nâ wə́əi.”*
*“早く行こう！さもないと（高等学校）3 年生の先輩がサッカーの試合をするのを見*

6）Web 上，ドラマ「Doksomseetong」のセリフ［2011］，またはタイ日辞典［冨田 1990］，あるいは Thai National Corpus II（TNC）［Chulalongkorn University 2007–2013］からの出典。明記されていないのは実際の会話文やタイ語母語話者コンサルタントにより作成された例文である。

*に行くのに間に合わないよ”*

[writer.dek-d.com/patexokris/story/viewlongc.php?id=1159126]

例(2)と(3)のように自分の目で実際に物事の存在や動きを確かめるという意味で用いられる。「duu 見る」の最も基本的な意味だと思われる。(2)の「duu 見る」の対象はものであるが，(3)の「duu 見る」の対象は出来事である。

*(4)　duu samùt-banthɯ́k lɛ́ɛo phâŋ nɯ́k khɯ̂n dâi wâa phrûŋníi tɔ̂ŋ phaa mɛ̂ɛ pai rooŋphayaabaan.*
*手帳を見て，明日母を病院に連れていかないといけないことを思い出した。*

*(5)　ʔaathít nâa ca sɔ̀ɔp lɛ́ɛo, yaŋ mâi dâi duu náŋsɯ̌ɯ ləəi.*
*来週はもう試験ですが，まだ全然本を見ていない。*

(4)の「duu samùt-banthɯ́k 手帳を見る」は手帳そのものの存在を見るのではなく，「手帳に書いている文字を読む」，また(5)の「duu náŋsɯ̌ɯ 本を見る」も本そのものを見るのではなく，「本の内容を理解するためにそこに書かれている文章を読む」という意味合いで用いられる。手帳と本以外にも，新聞，ウェブ，手紙，看板，説明書などのような文字が記載されている類のものを「duu 見る」のも同様の意味合いで用いられる。

| duu 見る　＝　読んで内容を理解する |
|---|

*(6)　yàak duu nuuwooʔa ,tɛ̀ɛ sǒŋsǎi ca mâi dâi duu.*
*ヌーウォーを見たいが，見れないかもしれない。*

[www.challang.com/new/Board-Detailb11f.html?!ID=04153]

*(7)　dii wâa ca duu sǎarakhadii sák rɯ̂aŋ nɯŋ kɔ̀ɔn.*
*その前にドキュメンタリーを見るつもりです。*

[Doksom Seetong 2011]

「duu nuuwoo ヌーウォーを見る」はヌーウォーという音楽グループのコンサートを楽しむということを表す。「duu sǎarakhadii ドキュメンタリーを見る」はテレビで放送されるドキュメンタリー番組の内容を楽しむということである。ここで用いられている「duu 見る」とは，目からだけではなく耳からも得る情報を感受し，その内容を楽しむことである。それ以外にも，テレビ，映画，スポーツ，劇を表す言葉，または，テレビに出演する者，映画のタイトル，スポ

ーツ選手，スポーツのチーム，劇団などのような名称が「duu 見る」に伴われるとこのような意味合いで用いられる。

| duu 見る＝ 楽しむ |
|---|

*(8)* *mêɛ khoŋ pai mâi dâi rɔ̀ɔk phrɔ́ʔ mâi mii khon duu yaai.*
*母は，お婆ちゃんを見る人がいないので，たぶん行けないでしょう。*

*(9)* *thâa pai kan mòt léɛo khrai ca duu bâan.*
*皆が行ってしまったら，誰が家を見る？*

(8)の「duu yaai お婆ちゃんを見る」は「お婆ちゃんの世話をする」，そして(9)の「duu bâan 家を見る」は「家の留守番をする」という意味で用いられる。この意味で用いられる「duu 見る」に後続する言葉は，人や場所（工場，ビル等）以外にも，動植物，及びそれらの名称が見られる。

| duu 見る ＝ 世話をする，面倒を見る |
|---|

*(10)* *duu náam ná, thâa dɯ̀at léɛo pìt kɛ́ɛt hâi dûai.*
*お湯を見てね。沸騰したらガスを止めて。*

*(11)* ［男性：近所の子供］ *duu mǎa hâi luŋ nɔ̀ɔi, luŋ ca maa duu fai hâi mêɛ kháo.*
*おじさんはお母さんに頼まれて電気の具合を見にきたから，ちょっと犬を見てね。*

(10)の「duu náam お湯を見る」は「お湯の沸きに注意する」，また（11）の「duu mǎa 犬を見る」は「犬が人を咬まないように気を付ける」，といった注意を払うことを表す。この意味合いでは，「duu khamooi 泥棒を見る＝泥棒に盗まれないように警戒する」，「duu malɛɛŋwan 蠅を見る＝蠅にたかられないように注意する」，「duu thian 蝋燭を見る＝蝋燭の灯が消えないように注意する」，などにも見られる。

| duu 見る ＝ 注意，警戒する |
|---|

*(12)* *mêɛ ca pai duu malakɔɔ maa tam sômtam sàk nɔ̀ɔi.*
*私はパパイヤサラダを作るためにパパイヤを見に行ってくる。*

*(13) kháo maa duu thîi, sŏŋsăi ca ʔao wái tham rooŋrian ʔanúbaan.*
*彼は土地を見に来た。幼稚園を造るためでしょう。*

(12)の「duu malakɔɔ パパイヤを見る」はパパイヤサラダを作るために，「適したパパイヤを選ぶ」，また(13)の「duu thîi 土地を見る」は幼稚園を造るために「用地として適切かどうかを調べる」，という意味合いで用いられる。それ以外に，「duu chút wái sài pai ŋaan tɛ̀ɛŋŋaan 結婚式に行くためのドレスを見る」，「duu takrâa pai sài phâa 洗濯物を入れるための籠を見る」なども見られる。

| duu 見る　＝　適切なものを選出する，適切なものかどうかを調べる |
|---|

*(14) rao duu léɛo rúusùk dii thîi hěn khon rák kan, mâi wâa tàaŋ phêet rŭu phêet diao kan.*
*私はそれ（同性結婚）を見ると，人が愛し合っているなら，異性であろうと同性であろうと，気持のいいものです。*

[pantip.com/topic/30594592]

*(15) maa duu kan síʔ wâa khon yîipùn kháo thíŋ khayàʔ kan yaŋŋai.*
*日本人はどのようにゴミを捨てているのかを見てみよう。*

[app.eduzones.com/portal/studyabroad/50052]

(14)の「同性間の結婚を見る」は「同性愛者同士の結婚について考える」という意味合いで用いられる。そして，(15)の「ごみの捨て方を見る」は「ごみの捨て方を考える」という意味合いで用いられる。

| duu 見る　＝　考える |
|---|

*(16) khon rao duu thîi nâa-taa mâi dâi, tɔ̂ŋ duu thîi khwaam-săamâat.*
*人は顔を見るのではなく能力を見なければならない。*

[https://th-th.facebook.com/....]

(16)の「duu thîi nâa-taa 顔を見る」は「顔で判断する」，そして「duu thîi khwaam-săamâat「能力を見る」は「能力で判断する」という意味合いで用いられる。

| duu 見る　＝　判断する |
|---|

*(17)* *chán tɔ̂ŋ khɔɔi duu wâa mii ʔaakaan pùat thɔ́ɔŋ ʔìik rʉ̌ʉ mâi .*
*私はまたお腹が痛くなるかどうかを見ないといけない。*
[th49.ilovetranslation.com/SMIPqRnqyjZ=d/]

*(18)* *rɔɔ duu thâa-thii kháo pai kɔ̀ɔn .*
*とりあえず彼の態度を見てみよう。*
[https://books.google.co.jp/books?id=lfilCwAAQBAJ]

(17)の「duu wâa mii ʔaakaan pùat thɔ́ɔŋ ʔìik rʉ̌ʉ mâi お腹がまた痛くなるかどうかを見る」は「お腹の具合の経過を観察する」，そして(18)の「duu thâa-thii 態度を見る」は「彼はどうするのか，その様子を見る」といった意味合いで用いられる。

| duu 見る　＝　経過を観察する，様子を見る |
|---|

*(19)* *phŏm duu wâa kháo pen khon sʉ̂ʉ,wái-cai dâi. .*
*僕は彼を正直だと見ている，なので信頼できると思う。*

*(20)* *khon thîi maa hăa phŏm kɔ̌ yàak hâi phŏm ʔɔ̀ɔk bɛ̀ɛp rɔɔŋ-tháao thîi tham hâi thəə duu dii duu sŭai.*
*訪ねてくる人は，自分がよく見られ，きれいに見られるように，僕に靴のデザインをしてほしいと思っている。*
[TNC-BIO030]

(19)の「duu wâa pen khon sʉ̂ʉ 正直だと見る」は「正直だと評価する」という意味合いを持つ。(20)の「duu」は他の修飾語が後続し，「duu dii よく見られる」は「よいと評価される」，そして「duu sŭai きれいに見られる」は「きれいだと評価される」というように，「評価される」という意味合いで用いられる。

| duu 見る　＝　評価する |
|---|

*(21)* *klàp maa càak kaan ʔao khɔm pai hâi châaŋ duu léɛo. sarùp khʉʉ phɔɔ pai thŭŋ ráan dan sʉ̀ak pəət dâi. chék saphâap tháŋ mòt léɛo,mâi mii ʔarai sĭa-hăai.*
*パソコンを専門家に見てもらってきた。結果から言うと，お店に行ったら普通に動い*

*た。全部チェックをしてもらったが，故障しているところはなかった。*

［https://th-th.facebook.com/Ohm…/531715050195595］

(21)の「duu 見る」は，パソコンそのものを見るという意味ではなく，パソコンの具合，状態を調べるという意味合いで用いられる。このタイプの意味合いで用いられる「duu 見る」の動作主は「mɔ̌ɔ 医者」，「pheesàt 薬剤師」，「ráan càkkrayaan 自転車の店」などのように，ある専門的な知識や技術を持つ人や場所を表す言葉であることが普通である。

| duu 見る　＝　（専門家による）調べでその内容が分かる |
|---|

## 2.2　慣用句として用いられる「duu 見る」

「duu 見る」は他の言葉と共起し，熟語や慣用句として基本的な意味から発展した意味合いを持つようになる。これらの表現をまとめると［表 1］になる。

［表 1］

| 共起語 | 各語の意味 | 用いられる意味 |
|---|---|---|
| duu khlɛɛn | 見る・不足している / 欠乏している | 軽蔑する |
| duu thùuk | 見る・安い | 軽蔑する，バカにする |
| duu bao | 見る・軽い | 軽視する |
| duu mìn | 見る・落ちそうな / 危機一髪の | 侮辱する |
| duu ŋaan | 見る・仕事 | 視察する |
| duu ŋən | 見る・金銭 | 貨幣の真贋を見分ける |
| duu cai | 見る・心 | 相手の心を試してみる |
| duu cháaŋ hâi duu hǎaŋ | 見る・象・ように・見る・尾 | 象の品定めをするには尻尾を見よ[7] |
| duu cháaŋ hâi duu nâa-nǎao | 見る・象・ように・冬 | 象の品定めは冬のうち[8] |
| duu naaŋ hâi duu mɛ̂ɛ | 見る・女性・ように・見る・母 | 娘を見る（女性の資格があるかどうかが分かる）にはその母を見よ |
| duu sǎao hâi duu nâa-rɔ́ɔn | 見る・娘・ように・見る・夏 | 娘の品定めは夏のうち[9] |
| duu wát hâi duu thǎan | 見る・寺・ように・見る・基礎 | 寺院（建築物として）の良否は基礎を見よ |
| duu wua hâi duu hǎaŋ | 見る・牛・ように・見る・尾 | 牛の品定めは尻尾を見よ[10] |
| duu taa máa taa rɯa | 見る・目・馬・目・船 | 周囲の状況をよく見定めてから物を言えまたは行動せよ[11] |
| duu ʔɔ̀ɔk | 見る・出る | 見抜ける，見分けがつく |
| duu lâat-lao | 見る・道筋 | 事前に周囲の情勢を見ておく |

7）尻尾の先が白ければ良い象とされる［冨田 1990: 634］。

8）象は冬になると脂が皮膚にしみ出し，さかりがついて兇暴になり性格がよく分かる［冨田 1990: 634］。

9）娘たちは夏になると肌が瑞々しくなり露出部分が多くなるから身体つきや肌がよく分かる［冨田 1990: 634］

10）尻尾の先の獣毛が菩提樹の葉っぱのような形であればよい牛とされる［https://www.wordyguru.com/ browse/thai-proverb/explore/34：2016 年 9 月 16 日閲覧］

11）将棋語。馬は日本の角，船は飛車に似ている。飛車，角の動く「道筋」をよく読んでおかぬと危ない［冨田 1990: 634］。

| | | |
|---|---|---|
| duu rə̂ək | 見る・吉祥時 | （占いによって）吉祥時を算出する |
| duu mɔ̌ɔ | 見る・医者 | 占師に運勢を占ってもらう |
| duu chôok chataa | 見る・運・運勢 | 占師に運勢を占ってもらう |
| duu duaŋ | 見る・運勢 | 運勢を占ってもらう |
| duu nu̍a-khûu | 見る・運命の相手 | 占師に結婚相手を占ってもらう |
| duu laai-m~~uu~~ | 見る・手相 | 占師に手相を見てもらう |
| duu phâi | 見る・トランプ | トランプ占いをしてもらう |
| duu wan-kə̀ət | 見る・誕生日 | 誕生日占いをしてもらう |
| duu klùm lûat | 見る・グループ・血 | 血液型占いをしてもらう |
| duu weelaa kə̀ət | 見る・時間・生まれる | 生まれた時間で占ってもらう |
| duu raasǐi | 見る・星座 | 星座占いをしてもらう |
| duu chôok | 見る・運 | 占師に運勢を占ってもらう |
| duu daai | 見る・傍観的な，知らん顔の | 無関心でいる，知らぬ顔をする |
| duu lɛɛ | 見る・関心を持って見る | 世話をする，保護管理する |
| duu lên | 見る・遊ぶ | （魚を飼うなどして）慰みに見る |
| duu mâi dâi | 見る・ない・得る | みっともない，見られたものではない |
| nâa duu | すべき・見る | すごく～ |
| phɔɔ duu | 十分・見る | 可なり |
| phɔɔ duu dâi | 十分・見る・得る | まあ見られる，まあまあよい |

## 3.「duu 見る」の拡張により生じる意味領域

本動詞として用いられる状況と慣用句の意味合いを基準にすると，タイ語の「duu 見る」はその基本の意味から下記の意味領域まで広げて用いられていると考えられる。

### 1)「duu 見る」→　＜知性＞

この意味的拡張は［duu 見る＝読んで内容を理解する］以外に，［duu 見る＝（専門家による）調べでその内容が分かる］，及び慣用句「duu ŋaan 視察する」，「duu ŋən 貨幣の真贋を調べる」，「duu cai 相手の心を試してみる」，「duu ʔɔ̀ɔk 見抜ける，見分けがつく」にも見ることによりその中身，実態，気持等が分かるという意味合いで用いられるようになる。また，「duu mɔɔ 占師に運勢を占ってもらう」，「duu laai-m~~uu~~ 占師に手相を見てもらう」といった慣用句では「予言」や「推測」をしてもらうということで，見ることによって将来の物事が分かるという意味合いを持つのでこの意味領域に入ると考えられる。

### 2)「duu 見る」→　＜配慮＞

「duu 見る」は過ちを犯さないように戒めること，あることに特に気を付けること，状況に対し気を配ること，のような意味合いを持つように転用される。この意味的拡張は［duu 見る＝

世話をする，面倒を見る］，［duu 見る＝警戒する］，［duu 見る＝経過を観察する，様子を見る］，及び慣用句「duu taa máa taa rɯa 周囲の状況をよく見定めてから物を言えまたは行動せよ」，「duu lâat-lao 事前に周囲の情勢をみておく」，「duu daai 無関心でいる，素知らぬ顔をする」，「duu lɛɛ 世話をする，保護管理する」に見られる。

3)「duu 見る」→　＜思考＞

見ることによってあれこれ思量し，事を明らかにする［duu 見る＝考える］，また物事を直感的あるいは論理的に考え決める［duu 見る＝判断する］と［duu 見る＝適切なものを選出する］に見られる。

4)「duu 見る」→　＜感情＞[12)]

見ることで満足で愉快な気分になるといった「duu 見る」の拡張された意味は＜ duu 見る＝楽しむ＞に見られる。

5)「duu 見る」→　＜評価＞

この意味領域は［duu 見る＝評価する］に見られる。また，「軽蔑する」や「侮辱する」のように相手を低く評価する意味合いで用いられる「duu thùuk」や「duu mìn」等，そして「duu cháaŋ hâi duu nâa-năao 象の品定めは冬のうち」，「duu săao hâi duu nâa-rɔ́ɔn 娘の品定めは夏のうち」等といった人間，動物，物の優劣や品質を判定することを表す慣用句，「duu mâi dâi みっともない，見られたものではない」，「nâa duu すごく～」，「phɔɔ duu 可なり」，「phɔɔ duu dâi まあ見られる，まあまあよい」といった慣用句もこの意味領域に入ると考えられる。

## 4．faŋ 聞く

### 4.1　本動詞として用いられる「faŋ 聞く」

「faŋ 聞く」が文中で本動詞として用いられる例文を示し，その意味合いを説明する。

*(22)　faŋ duu sî sĭaŋ ʔarai daŋ.*
*聞いてごらん，何か音がする。*

［冨田 1990: 1302–1303］

*(23)　phŏm chɔ̂ɔp faŋ dontrii.*

12) ここで用いている「感情」とは「一般的な感情」を指し，英語の「feelings」にあたる。

*私は音楽を聞くのが好きです。*

［冨田 1990: 1303］

(22)と(23)は音や声，言葉などを耳に感じ取るという意味で用いられる。この意味は「faŋ 聞く」の最も基本的な意味だと思われる。

*(24) yàa pai faŋ kham khon-ʔùun hâi mâak lɤɤi, rao lɔɔŋ chûa hŭa-cai tua-ʔeeŋ duu.*
*他人の言葉をあまり聞かないで，自分の心を信じてみればいい。*

［https://th.facebook.com/atimemedia/posts/10153322715069601］

*(25) kaan ʔɔ̀ɔk maa khlûan-wăi khɔ̌ɔŋ naai tháksĭn phrɔ́ʔ ʔàat ca faŋ khon rɔ̂ɔp-khâaŋ nai kaan damnəən yútthasàat mâak kəən pai.*
*タクシン氏の動静は周りの人の（政治的な）作戦について（のアドバイスを）聞きすぎることから来ているかもしれない。*

［MGR Online 2016年2月22日］

(24)にある「faŋ kham khon ʔùun 他人の言葉を聞く」は「他人が言ったことが正しいと思う」という意味合いで用いられる。(25)の「faŋ khon rɔ̂ɔp-khâaŋ 周りの人を聞く」は「周りの人の言葉を信じる」という意味合いで用いられる。

| faŋ 聞く = 信じる |
|---|

*(26) prachaachon mâi faŋ kham-sàŋ thîi phìt kòtmăai*
*国民は違法な命令を聞かない。*

［pantip.com/topic/31031671］

*(27) weelaa kròot mák ca mâi faŋ kham-hâam-praam càak khrai, lɛ́ʔ khrai yàa dâi hâam phrɔ́ʔ kháo ca mâi faŋ.*
*怒ったとき，彼は他人が止めようとしても聞かない。彼は聞かないから誰も止めない方がいい*

［https://th-th.facebook.com/hangsters/posts/665268393485011］

(26)と(27)にある「faŋ 聞く」は人の言葉を単に聞くという意味だけではなく，自分の行動をその言葉に合わせる，従うという意味合いがある。この場合，「faŋ 聞く」の対象は命令，禁止，

依頼，願いを表す言葉が普通である。

| faŋ 聞く　＝　従う |
|---|

*(28)　kèŋ khêɛ-nǎi tɔ̂ŋ faŋ khon-ʔùun hâi pen.*

*どんなに能力があっても他人に聞くことが出来るようにならないといけない。*

[www.manager.co.th/South/ViewNews.aspx?NewsID…]

*(29)　khon thîi mâi sǒncai faŋ kham-tàktuan kɔ̂ mǔan nák-bin thîi mâi sǒncai kham-tuan càak hɔ̌-baŋkháp-bin.*

*警告の言葉を聞こうともしない人はパイロットがコントロールタワーの警告に関心がないのと同じである。*

[https://www.jw.org/th/]

(28)の「faŋ khon-ʔùun hâi pen 他人に聞くことが出来るようになる」は「他人が言った言葉に関心を持つことができるようになる」という意味合いで用いられる。(29)にある「faŋ kham-tàktuan 警告の言葉を聞く」は「警告の言葉に心を配る」という意味合いで用いられる。このような意味合いで用いられる「faŋ 聞く」の対象は警告や助言の言葉であることが普通である。

| faŋ 聞く　＝　配慮する，関心を持つ |
|---|

*(30)　bɔ̀ɔi khráŋ thîi thâan yɔɔm-ráp wâa tua-ʔeeŋ khít phìt lǎŋ càak thîi dâi ráp-faŋ hèet-phǒn khɔ̌ɔŋ phûu-ʔùun.*

*その方は，他人の理由を聞いた後自分が間違ったと認めることはよくある。*

[www.islammore.com/main/content.php?page=sub&category…]

*(31)　faŋ duu wâa ʔarai khuan ʔarai mâi khuan.*

*何をやるべきなのか，何をやるべきではないのかを聞かないといけないです。*

[www.manager.co.th/South/ViewNews.aspx?NewsID…]

(30)の「faŋ hèet-phǒn khɔ̌ɔŋ phûu-ʔùun 他人の理由を聞く」は「他人が言った理由を考える」，また(31)の「faŋ duu wâa ʔarai khuan ʔarai mâi khuan 何をやるべきなのか，何をやるべきではないのかを聞かないといけない」は「何をやるべきなのか，何をやるべきではないのかを考えな

いといけない」という意味で用いられる。ここの「faŋ 聞く」には聞いたことをその道理，本質を明らかにするために，よく分析して考えるという意味合いがある。

| faŋ 聞く ＝ 考える |
|---|

### 4.2 慣用句として用いられる「faŋ 聞く」

「faŋ 聞く」は他の言葉と共起し慣用句として用いられることもある。［表 2］に提示する。

［表 2］

| 共起語 | 各語の意味 | 用いられる意味 |
|---|---|---|
| faŋ khûn | 聞く・上がる | 説明に納得できる |
| faŋ mâi khûn | 聞く・ない・上がる | 説明されても納得できない |
| faŋ khwaam khâaŋ diao | 聞く・事・側・片方 | 一方の話だけを信じる |
| faŋ dâi | 聞く・得る | 説明は筋道が立っているように思える，まあ信用できる |
| faŋ mâi dâi sàp càp pai kradìat | 聞く・ない・手に入れる・事・持つ・行く・腰に乗せて運ぶ | 小耳に挟んだだけで，鵜呑みに信じてしまう |
| faŋ yâak | 聞く・難しい | 信じがたい，説明されても納得しがたい |
| faŋ hǔu wái hǔu | 聞く・耳・置く・耳 | 半信半疑である，割り引いて聞く |

## 5.「faŋ 聞く」の拡張により生じる意味領域

4 での本動詞として用いられる例文や慣用句の意味合いを基準にすると，タイ語の「faŋ 聞く」はその基本の意味から下記の意味領域まで広げて用いられていると考えられる。

1)「faŋ 聞く」→ ＜従順＞

この意味合いで用いられる「faŋ 聞く」は本動詞として用いられる［faŋ 聞く＝信じる］と［faŋ 聞く＝従う］だけではなく，慣用句「faŋ khwaam khâaŋ diao 一方の話だけを信じる」，「faŋ dâi 説明は筋道が立っているように思える，まあ信用できる」，「faŋ mâi dâi sàp càp pai kradìat 小耳に挟んだだけで，鵜呑みに信じてしまう」，「faŋ yâak 信じがたい，説明されても納得しがたい」そして「faŋ hǔu wái hǔu 割り引いて聞く，半信半疑である」に見られる。

2)「faŋ 聞く」→ ＜配慮＞

本動詞として用いられる［faŋ 聞く＝配慮する，関心を持つ］はこの意味領域で用いられる。

3)「faŋ 聞く」→ ＜思考＞

この拡張された意味合いは本動詞として用いられる［faŋ 聞く＝考える］及び，慣用句「faŋ

khûn 説明に納得できる」と「faŋ mâi khûn 説明されても納得できない」に見られる。

## 6.「duu 見る」と「faŋ 聞く」の拡張された意味の同異とその特徴

上記の通り，「duu 見る」と「faŋ 聞く」は本動詞や慣用句として様々な意味合いで用いられる。それぞれの拡張された意味の共通点・相違点とその特徴は下記の通りである。

1）**共通点**：「duu 見る」と「faŋ 聞く」は＜思考＞と＜配慮＞という意味領域に拡張されるところは共通している。

2）**相違点**：「duu 見る」から拡張された＜思考＞には，目で見たことによりその内容を分析し考えるという特徴があるのに対し，「faŋ 聞く」から拡張された＜思考＞には，人が発する注意，警告，助言等の言葉に対して，その道理を考えるというところに特徴がある。また，「duu 見る」から発展された＜配慮＞は主に目の前および周囲の様子，雰囲気，状況に対し，気づき，それらに合わせて適切な対応を行うのに対し，「faŋ 聞く」から拡張された＜配慮＞は主に人の助言や警告の言葉を受け止め検討するということに特徴がある。

「duu 見る」は＜知性＞，＜感情＞，＜評価＞といった意味領域に拡張されるのに対し，「faŋ 聞く」はそれらの意味領域に拡がるのは見られない。一方，「faŋ 聞く」が＜従順＞に発展されるのとは異なり，「duu 見る」は＜従順＞への広がりは見られない。

「duu 見る」から拡張された＜知性＞は対象の性質，形体，状態，内容を物質的に把握するのみならず，精神的な状態や状況を理解するところまで拡がる。そして，感覚器官としての「目」で見るだけではなく，特定の分野の専門的知識も使って，その性質，状態，内容の本質が分かるといった意味合いも「duu 見る」という言葉で表現される。また，目の前にある具体的な対象以外にも，目に見えない将来の様子や状況を知ることも，タイ語では「duu 見る」で表す。

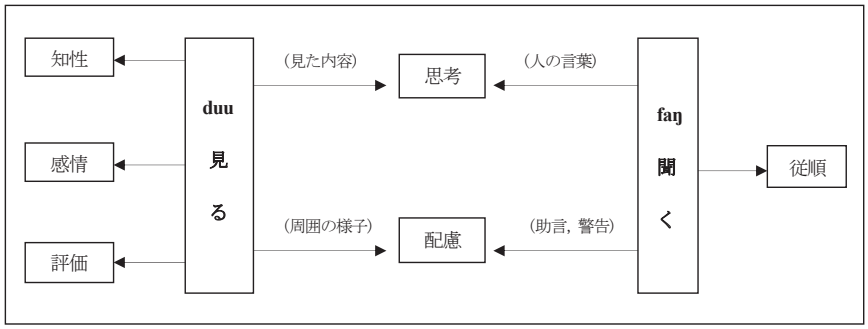
「duu 見る」から発展した＜感情＞は，主として視覚と聴覚の両方が同時に刺激を受けることでその対象となるものに楽しみを持つということである。

「duu 見る」から拡がった＜評価＞は対象である物，動物，そして，人間の外見，性質，資質の価値を定めるだけではなく，評価する側の心情や価値観までも表されるところに特徴がある。

「faŋ 聞く」から拡張された＜従順＞は，噂，意見，助言，警告など人の言葉を素直に受け入れ，従うことを意味するところに特徴がある。

「duu 見る」と「faŋ 聞く」の意味的拡張は［図 1］のようにまとめることが出来る。

＜思考＞は聴覚から発展していると指摘している Evan and Wilkins［2000］の論証をここでは支持することができたが，＜知性＞も聴覚から発展しているということは本稿では論証することが出来なかった。一方，視覚の動詞は＜知性＞へ，聴覚の動詞は＜従順＞へと拡張することが本稿で確認することが出来たところは Sweetser E.［1990］の指摘と共通する結果となった。し




［図 1］

かし，タイ語では，視覚の動詞は＜知性＞だけではなく，＜思考＞，＜配慮＞，＜感情＞，そして＜評価＞へも拡張されているし，また聴覚の動詞は＜従順＞だけではなく，＜思考＞と＜配慮＞へも発展されていることも明らかになった。

個人の価値観を基準にし，物や動物だけではなく，人の美醜，優劣，善悪等の価値を評価することで，一方が他方より上位に位置づけられるというタイ人の意識は多くのタイ語表現で示されてきている。その意識は「faŋ 聞く」ではなく，「duu 見る」を通して表現されることがここで確認することができた。

## 7．おわりに

本稿は，文中で本動詞として用いられる「duu 見る」と「faŋ 聞く」及びそれぞれの動詞の共起からなる熟語と慣用句を分析の対象とした。しかし，視覚動詞は「duu 見る」以外にも「hěn 見える」，「mɔɔŋ 眺める」，「cɔ̂ɔŋ 見つめる」などもあり，一方，聴覚動詞は「faŋ 聞く」だけではなく，「dâiyin 聞こえる」もある。また，「duu 見る」は本動詞と慣用句以外にも，「動詞＋duu」，「duu mǔan….～のようだ」等の文法化された表現もある。本稿で得られた研究結果の確認をするためにも，これらの動詞や表現を取り上げて分析することが望まれるだろう。また，「duu 見る」と「faŋ 聞く」の拡張された意味には，何らかのタイの文化，そして社会・生活・自然環境等が反映されているものと思われるが，これについての論考も含めて今後の課題としたい。

## 参考文献

岩波書店，2008，『広辞苑』，岩波書店，東京.

国広　哲弥，1989，「五感を表す語彙―共感覚比喩的体系」，『言語』11 月号，大修館書店，東京，pp.28–31.

小学館，2006，『精選版日本国語大辞典』，小学館，東京.

瀬戸　賢一，1995（2011），『メタファー思考：意味と認識のしくみ』，講談社現代新書，東京 .

冨田　竹二郎，1990，『タイ日辞典』，養徳社，奈良 .

山梨　正明，1988，『比喩と理解』，東京大学出版会，東京 .

Evans, N. and Wilkins, D., 2000, 'In the Mind's Ear: The Semantic Extensions of Perception Verbs in Austrarian Languages', "*Language: Journal of the Linguistic Society of America*" 76: 3, Linguistic Society of America, Baltimore, pp.546−593.

Rattanaphanusorn, R., 2006. "*Semantic Extension of Visual Perception Verbs in Thai*", Ph.D dissertation. Chulalongkorn University.

Rattanaphanusorn, R., 2009, 'Kaan Khayaai Khwaam-maai Khong Kham Kariyaa "Hen" nai Phaasaa Thai', Faculty of Humanities and Social Sciences, Pranakhon Si Ayutthaya Rajabhat University, Ayutthaya, pp.1−19.

Rattanaphanusorn, R., and Thepkanjana, K. 2007, 'The Grammaticalization of the Verb of Seeing as an Evidential Marker in Thai',『認知言語学論考』No.7，ひつじ書房，東京，pp.273−301.

Sweetser , E., 1990, "*From etymology to pragmatics: Metaphorical and cultural aspects of semantic structure*", Cambridge University Press.